



やしお 9月号

平成23年
(2011年)

9月号

毎月10日発行

●発行／八潮市 ●編集／広聴広報課 〒340-8588八潮市中央1-2-1
TEL 048(996)2111(代表) ホームページ <http://www.city.yashio.lg.jp/>
FAX 048(995)7367 Eメール kochokoho@city.yashio.lg.jp



応急手当訓練

私たちには、地震などの災害に食い止めることが可能ですが。そのためには、市をはじめとする防災関係機関が、普段から

の発生そのものを防ぐことはできませんが、被害を最小限に止めるために、市をはじめとする防災関係機関が、普段から伴つて発生した津波、その後の余震により引き起こされた東日本大震災では、数多くの犠牲者が出ていたほか、原子力発電所の事故や電気の供給不足による計画停電などによって、さまざまな問題が発生しました。

地震や豪雨などの大規模災害が発生した場合、まず、自分の身を守り、家族の安否確認、そして地域の安全を確認するなど、被害の軽減を図るために自主防災活動が重要になります。

人・地域・災害を知る 総合防災訓練を実施

普段できていないことを災害時にすることはなかなかできません。特に災害発生直後は、防災関係機関の活動が制限されてしまうため、被災地の住民自らが助け合なければなりません。だからこそ、「家族でできること」「隣近所と力を合わせてできることがあって、そのとき備えて、地域の防災力を高めておくことが必要です。防

機能強化を図り、その役割を十分に果たさなければならぬことは言うまでもありません。大切なことは、市民の皆さん一人ひとりが災害を正しく理解し、いざというときに落ち着いた行動を取ることができるよう、総合的な防災体制を確立しておくことが重要です。

被害を少なくするために



ロードスイーパーによる表土除去

市では、これまでの放射線量の測定結果に基づき、子ども達が普段生活する場である保育所、小中学校を対象にして、まずは比較的放射線量が高い次の施設の校庭や園庭の除染作業を行いました。

保育所の園庭については主に市職員が手作業で、小中学校の校庭については道路清掃の際に用いるロードスイーパーを使用して、表土を約1～2センチメートル程度取り除きました。なお、除去した表土は、校庭などの隅に掘削した穴に埋設し、その上から30センチメートル程度掘削削土を被せて保管しています。

校庭などの表土を除去しました

実施場所・実施時期	※市内全域における放射線量の測定結果(8月)について
・潮止め中学校	8月24日
・大瀬小学校	8月26日
・古新田保育所	8月29日
・南川崎保育所	8月16日
・中川小学校	7月10日
・緊急対策担当	8月35日
・東北地方太平洋沖地震	8月16日
・いよいよ掲載します。	4ページに掲載します。

市の人口と世帯数	
平成23年8月1日現在	
前月比	
人口	83,057人 (+ 47人)
男	43,090人 (+ 40人)
女	39,967人 (+ 7人)
世帯	34,582世帯 (+67世帯)

今月の主な内容	
小中一貫教育の取り組み	2
あなたの声をまちづくりに—市民の声ボックス	3
第3次八潮市行政改革大綱・八潮市行政改革集中改革プラン取組結果/放射線量の測定結果	4
おしらせHOTコーナー	5～9
案内・催し・募集 840伝言板・行ってみたいなりまち	
いきいきやしお写真館	12

「日本一ゴミの少ないまち、やしおを目指して」啓発標語

協力し ごみを町から 消し去ろう

災訓練は、応急活動が迅速、適切に行われるよう、防災体制の実効性を確認・検証するとともに、市民の皆さん幅広い参加を通して、一人ひとりが防災に関して考える絶好の機会です。

柳之宮小学校と大曾根小学校で総合防災訓練を行いました。当日は、八幡地区の7町会

時30分頃、東京湾北部を震源とする強い地震が発生し、市内では、最大で震度6強を観測した。各所で家屋の倒壊が発生し、電気、ガス、水道、交通機関などのライフラインも被害を受けている」という想定のもと、市では、8月27日、

平成23年度総合防災訓練

所設営訓練」「仮設トイレ設営訓練」「避難訓練」「応急手当訓練」「炊き出し訓練」「安否情報通信訓練」「情報収集伝達訓練」「避難訓練」「住民避難訓練」が行われました。その後、市職員や協力企業が主体的に行う「情報収集伝達訓練」「応急物資配給訓練」などが実施されました。

柳之宮小学校と大曾根小学校で総合防災訓練を行いました。当日は、八幡地区の7町会